



2022年 年次報告



内容：

1. 会社概要
2. コミットメント
 - A. 人権
 - B. 調達
 - C. 倫理
 - D. 文化
3. サステナビリティ目標
4. 用語解説

1. 会社概要

ヴァンドーム広場に店舗を構えるショーメは、個性と魅力に満ちた素晴らしいジュエリーを生み出しています。エレガントで大胆なメゾンのジュエリーのタイムレスなスタイルは、時の流れとともに、世界の影響を受けながら、伝統とモダンさを常に織り交ぜて、常に進化し続けてきました。ハイジュエリーのアトリエでは、職人たちがサヴォアフェールを受け継ぎ、伝授しながら、メゾンのシグネチャーであるティアラをはじめ、軽やかで動きのあるジュエリーの傑作を創り出しています。それは 240 年の時を超えて、常に限界を追求してやまない唯一無二の卓越性の証です。ジュエリーやウォッチは、主にフランス、イタリア、スイスにある外部のサプライヤーのネットワークを通じて製造されています。

ショーメ・インターナショナル (CHAUMET INTERNATIONAL S.A) は、LVMH モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトングループ (以下“LVMH”とする) の傘下にあるブランドです。ショーメ・インターナショナルは、以下の子会社で構成されます：CHAUMET KOREA LLC, CHAUMET LONDON LIMITED, CHAUMET AUSTRALIA PTY LTD, CHAUMET IBERIA SLU, CHAUMET MIDDLE EAST FZCO, CHAUMET HORLOGERIE SA (Switzerland)、CHAUMET MONACO SAM、CHAUMET EAU TRADING LLC、CHAUMET KUWAIT WLL、CHAUMET ARABIA LTD。これらを以下、CISA グループと略します。CISA グループは、ヨーロッパ、日本、アジア太平洋、中東、中国の 5 つの主な市場で事業を展開し、2022 年末の時点でその店舗数は 76 を数えます。

2. コミットメント

A. 人権

人権の尊重は、CISA グループの掲げるビジョンと価値観の本質を成すものです。CISA グループは、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、国際人権章典および国際労働機関 (ILO) の「労働における基本原則と権利に関する宣言」で規定されている国際的に認められた人権を尊重することを約束します。私たちは OECD のガイドラインに従い、「市民的および政治的権利に関する国際規約」「経済的、社会的、文化的権利に関する国際規約」を遵守しています。

人権を尊重することは、すべての従業員、パートナー、サプライヤー、請負業者、および CISA グループの事業、製品、サービスに直接関わるその他の当事者が期待する基本的な事項とみなされます。

当社のコミットメントの概要は、当社のウェブサイト上で公開されている人権ポリシーに掲載されています。

また、LVMH グループは、才能とスキルの開発（戦略的専門知識の保持、伝統的工芸技術の継承）、差別の防止と個性・多様性・インクルージョン（包括性）の尊重、職場環境の継続的改善（労働条件の改善、フレキシビリティおよびワーク・ライフ・バランスのサポート）、適正賃金の保証、地域社会のサポートなどの観点から、コミットメントや達成度を分析し、グループ外部からの監査対象となっている年次 CSR 報告書を作成しています。この報告書の作成にあたり、ショーメは LVMH グループにこれらの点に関する年次 CDR 報告を提出しています。

レスポンシブル・ジュエリー・カウンシル（RJC）のガイダンスに沿って、ショーメの人権リスクの分析が、非差別やハラスメントの観点から実施されました。アクションプランの導入を必要とするようなリスクは特定されませんでした。こうしたリスクは年次ベースで確認し、必要があれば補正を行う必要があります。

B. 調達

CISA グループは、特に原料の調達に関して、事業が社会に与える影響を意識しています。こうした理由から、ショーメは人権を尊重しながら事業を倫理的な方法で展開するよう、責任ある調達方針（ショーメ公式ウェブサイトに掲載）を設定しています。

CISA グループは、サプライヤーに対し、LVMH サプライヤー行動規範（インターネットに掲載）に含まれる倫理原則の遵守だけでなく、サプライヤーの独自のサプライヤーや下請け業者にもこれらの規範の尊重を求めています。サプライヤー行動規範の遵守は、契約条件の一部となっています。この行動規範では、児童労働の禁止、強制・不法労働の禁止、差別・ハラスメントの禁止など基本的な人権を保証します。報酬、労働時間、結社の自由、地域社会の保護などの条件も明記しています。さらに、ショーメの事業における環境コンプライアンスとパフォーマンスの詳細も記載しています。最後にこの行動規範では、企業の倫理と高潔に対する条件（汚職撲滅、マネーロンダリング、テロに対する資金調達、贈答や招待、利害の衝突、公正な競争）も規定しています。

CISA グループは 2005 年よりレスポンシブル・ジュエリー・カウンシル（RJC）に加盟し、その認証を受けています。この組織は、ジュエリー業界で責任ある事業展開を推進しています。この認証システムでは、人権がサプライチェーンのどの段階でも守られるよう、企業の倫理・社会・環境的な慣行を監査します。中でもジュエリー製品の製造に対しては特に注意しています。私たちは、キンバリープロセスを提携した国の信頼できるサプライヤーと取引を行い、責任ある方法でジュエリー製造を行うことを約束します。キンバリープロセスとは、複数の政府、産業、市民社会が参加し、紛争ダイヤモンドが国際的な認証システムに流通するのを防ぐことを目的としたイニシアチブです。

CISA グループは、紛争地やリスクの高い地域で生産される鉱物の責任あるサプライチェーンを確立させるために、OECD の 5 段階のデューディリジェンスプロセスを実施することを約束しています。

その注意義務の一環として、CISA グループは、リスクアセスメント管理システムを導入しています。またショーメの調達慣行に関連して生じる悪影響を防ぐ、または低減させることを目的とした、LVMH グループの苦情管理組織の恩恵を受けています。

リスクアセスメント

LVMH、およびレスポンシブル・ジュエリー・カウンシル（RJC）のガイドラインに基づき、ショーメは、サプライチェーン全体において社会的権利や人権のリスクを監視しています。リスクアセスメントを行うため、私たちはサプライヤーに、主に注意義務の管理、OECD の指針に準じるリスクアセスメント、認証の取得、人権に関する国際連合とのコンプライアンスなどを含む自己評価の実施を依頼しています。前にも述べた通り、ショーメのサプライヤーは、サプライヤー行動規範に署名を行う必要があります。

この目的を達成するために、ショーメは、サプライチェーンのリスクアセスメントと確立されたリスクレベルに応じたアクションプランを設定しています。

アンケートに対するサプライヤーの回答、サプライヤーの活動内容に対する知識、さらにはサプライヤーの認証のレベル（RJC）に基づき、ショーメは起こりうるリスクの特定を行いました。2022年、特にリスクは認められませんでした。

LVMH の行動規範には、監視条項が含まれ、この行動規範で言明されているすべての原則に関してサプライヤーを監査する権利を有しています。サプライヤーは、コンプライアンス違反が特定されたら、それを改善・解決する義務があります。それに伴い、ショーメは、「OECD 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任ある

サプライチェーンのためのデューディリジェンス・ガイダンス」（CAHRA）に従い、ショーメのサプライチェーン全体を通じてデューディリジェンスを実施することで、ゴールド、ダイヤモンド、カラーストーンの調達に特に注意を払った、企業内部の手順とプロセスを強化しています。

C. 倫理

内部統制部門が、リスクの年次マッピングを作成し、こうしたリスクの影響を抑えるアクションを実施しています。このような分析は内部統制作業の基礎であり、継続的な改善を目指して、アクションプランを確実に実施することを可能とします。これにより、有形、無形の企業資産保護の効率的な管理、適用される法律や規則に基づいた会計、財務、社会情報の信頼性が確実となります。

2022 年、管理委員会は、監査・リスク管理部門と共に、メゾンの事業部門における法律や規則がますます厳しくなっていることを認識しました。結果として、規則や規約の違反という新しい主要なリスクが、メゾンのリスクマップに含まれるようになりました。

この主要なリスクには、RJC の不認証を含むいくつかのシナリオが含まれます。

このリスクの発生や影響を最低限に抑えるために、メゾンでは方針や手順を整えました。これにより今日リスクは低くなっています。しかしながら、継続的なアクションプランが常に実施され、倫理・コンプライアンス委員会によって監視されています。

LVMH グループの内部監査部門は、定期的な監査を行い、コンプライアンスと実施している手順の有効性を確認しています。

ショーメの **KYC (Know Your Counterpart)** ポリシーは、事業慣行や取引においてマネーロンダリングやテロの資金調達を防止するというショーメのコミットメントを確認するものです。この目的を達成するために、私たちはマネーロンダリング、およびテロの資金調達に対抗するため、KYC の具体的な手順を設定しました。

CISA グループはまた、対話や透明性の文化を推進し、LVMH アラートラインを介した内部通報制度、社員のためのオンラインインターフェイスを導入しています。このシステムにより、LVMH 行動規範、内部ガイドライン、原則、ポリシー、適用できる法律や規則に対して知識を持つ社員や外部関係者は、内部ガイドラインや手続き、倫理的な原則や適用される法律や規則に対する、進行中の違反や違反となりうる行為について、安全に、機密を厳守した方法で報告を行うことができます。

社員は、マネージャー、人事部長、企業の倫理・コンプライアンスオフィサー、グループの倫理・コンプライアンス部長に連絡することもできます。

外部関係者は、何か懸念事項があれば自分の LVMH 担当者に連絡できます。

グループは、これらのチャンネルを善意で使用した人物に対して、例え報告の内容が実際には正確ではない、あるいは根拠がないと判明した場合、および/または、いかなる手順や処罰が生じなかった場合にも、懲戒処分を取ることはありません。

このインターフェイスは以下のリンクからアクセス可能です：
<https://alertline.lvmh.com>.

D. 文化

2022 年、メゾンの積極的な文化的活動は、Beaux-Arts de Paris（パリ美術学校）で『Botanical - Observing Beauty』（6月16日～9月14日）展の開催によって裏付けられました。この展覧会は、メゾンのインスピレーションとクリエイションの中心に

ある“自然”を学術的、芸術的側面から称賛する独創的な内容でした。このプロジェクトの首唱者として、ショーメは、ヨーロッパにおけるジュエリーの歴史の中で最も重要なもののひとつであるメゾンの膨大な遺産を活用し、植物に着目してきたあらゆる芸術的様式と共鳴するような自然主義の視点を形にしました。絵画、彫刻、テキスタイル、写真、家具、さらにはショーメや他のメゾンの所蔵する 80 点のジュエリーなどを含む約 400 の作品が公開され、ここを訪れる人は 5000 年の芸術と科学が織り成す対話を堪能することができました。

常に革新性を追求する LVMH グループは、社員がアイデアを共有し、DARE プログラムを通じてそれをプロジェクトとして実現するよう促しています。これにより、オンラインのセールスプラットフォームにて“ヘリテージ”作品を普及させることを目的とした Heristria プロジェクトが 2022 年末に始動しました。メゾンはアールデコ時代を象徴する 1926 年製のブレスレットをカタログに追加することでこの試みに応えました。

3.サステナビリティ目標

LVMH は、持続可能な開発目標を支持し、その達成に貢献しています。

2012 年の時点で、LVMH は明確な目標と期限を定めた環境ロードマップを作成しました。2020 年、2030 年のロードマップが「LIFE 360」の名前で公開されました。各メゾンはこのロードマップを実施し、目標達成に向けて必要なアクションを取らなければなりません。LVMH は、SBTi (Science Based Target Initiative) において、エネルギー消費による GHG (温室効果ガス) 排出量を 2026 年までに絶対値で 50%削減 (スコープ 1、2)、付加価値単位当たりの GHG 排出量を 2030 年までに 55%削減 (スコープ 3) することを約束しています。それゆえ LVMH は、パリ協定の定める炭素関連のロードマップを確実にこなしており、2050 年のヨーロッパの掲げるカーボンニュートラル目標達成に貢献しています。こうした状況の中、私たちは主な天然資源を特定し、その使用の効率性を改善する理論を採用しています。

LIFE 360 の 4 つの柱とは以下です：

- 多様性の保護
- 気候変動への取組み
- 循環経済
- 透明性

LVMH グループの傘下にあるメゾンとして、ショーメは LIFE 360 プログラムの定める要件を満たすアクションを採用し、フランス内外のエネルギー消費低減に関するグループのガイドラインを適用しています。

4.用語解説

CISA=Chaumet International S.A. (ショーメ・インターナショナル)

KYC = Know Your Counterparty (自分の取引相手を知ろう)

LVMH = Louis Vuitton Moët Hennessy (モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン)

LIFE 360 = LVMH の環境に対するイニシアチブ

OECD = 経済協力開発機構

UN = 国際連合

RJC = レスポンシブル・ジュエリー・カウンシル (責任あるジュエリー協議会)

2023 年 3 月 1 日署名

署名者 : CSR、サステナビリティディレクター、Sandra Lesteven